

作業項目				作業内容	
定期清掃	床	弾性床	洗浄	表面洗浄※1	①椅子等軽微な什器の移動を行い、作業終了後、元の位置に戻す。なお、洗浄水の進入の恐れのあるコンセント等は、適正な養生を行う。 ②床面の除塵を行う。除塵作業は、隅は真空掃除機又は自在帯、広い場所はフロアダスター又は自在帯で掃き、集めたごみは所定の場所に搬出する。 ③床面に適正に希釈した表面洗浄用洗剤をむらのないように塗布する。 ④洗浄用パッド（赤）を装着した床磨き機で、皮膚表面の汚れを洗浄する。 ⑤吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。 ⑥2回以上水拭きを行い、汚水や洗剤分を除去した後、十分に乾燥させる。 水拭き作業は、床全面をモップで水拭きをすることにより行う。 ⑦樹脂床維持剤を、塗り残しや塗りむらのないように格子塗りし、十分に乾燥する。 ⑧樹脂床維持剤の塗布回数は、原則として1回（格子塗り）とする。
			剥離洗浄※2	①椅子等軽微な什器の移動を行い、作業終了後、元の位置に戻す。なお、洗浄水の進入の恐れのあるコンセント等は、適正な養生を行う。 ②床面の除塵を行う。除塵作業は、隅は真空掃除機又は自在帯、広い場所はフロアダスター又は自在帯で掃き、集めたごみは所定の場所に搬出する。 ③床面に適正に希釈した樹脂床維持剤の剥離剤をむらのないように塗布する。 ④剥離用パッド（黒又は茶）を装着した床磨き機で洗浄する。 ⑤吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。 ⑥剥離状況を点検し、不十分な箇所がある場合は、再度剥離作業を行う。 ⑦床材表面を中和するため、床磨き機で水洗いを行う。 ⑧吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。 ⑨3回以上水拭きを行って、汚水や剥離剤を除去した後、十分に乾燥させる。 水拭き作業は、床全面をモップで水拭きをすることにより行う。 ⑩樹脂床維持剤をモップで、塗り残しや塗りむらのないように格子塗りし、十分に乾燥した後塗り重ねる。 ⑪樹脂床維持剤の塗布回数は特記による。特記のない場合は、3回（格子塗り）とする。	
		補修	スプレーパフィン※3 【スプレークリーニング】	①汚れた部分は、水又は専用補修液をスプレーし、パッド（赤又は白）を装着した床磨き機で乾燥するまで研磨する。 なお、汚れが目立つ場合は、適正に希釈した表面洗浄用洗剤を用いる。 ②削り取られたかすを取り除き、スプレーパフィンを行った箇所を水拭きした後、樹脂床維持剤を塗布して補修する。	
		硬質床	洗浄	一般床洗浄※4 (床保護材が塗布されていない場合)	①椅子等軽微な什器の移動を行い、作業終了後、元の位置に戻す。 ②床面の除塵を行う。除塵作業は、隅は真空掃除機又は自在帯、広い場所はフロアダスター又は自在帯で掃き、集めたごみは所定の場所に搬出する。 ③床面に適正に希釈した表面洗浄用洗剤をむらのないように塗布する。 ④洗浄用パッド又は洗浄用ブラシを装着した床磨き機で、汚れを洗浄する。 ⑤吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。 ⑥2回以上水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させる。 水拭き作業は、床全面をモップで水拭きをすることにより行う。
	木製床	洗浄	表面洗浄※1 (床保護材が塗布されている場合)	①椅子等軽微な什器の移動を行い、作業終了後、元の位置に戻す。なお、洗浄水の進入の恐れのあるコンセント等は、適正な養生を行う。 ②床面の除塵を行う。除塵作業は、隅は真空掃除機又は自在帯、広い場所はフロアダスター又は自在帯で掃き、集めたごみは所定の場所に搬出する。 ③床面に適正に希釈した木製床専用の表面洗浄用洗剤をスプレー等で床面に噴霧する。 ④洗浄用パッド（白）、綿製パッド等で、皮膚表面の汚れを洗浄する。 ⑤固く絞ったモップで拭きを行い、汚水や洗剤分を除去した後、十分に乾燥させる。 ⑥床保護剤を、塗り残しや塗りむらのないように格子塗りし、十分に乾燥する。 ⑦床保護剤の塗布回数は、原則として1回（格子塗り）とする。 適正洗剤又は水を用いて洗浄し、土砂や汚れを取り除く。適正洗剤を用いる場合は、清水で洗剤分を除去した後、十分に乾燥させる。	
	床以外	フロアマット	洗浄	※5	
		吸出口・吸込口	拭き	※6	次の作業を行う。 ・吸出口、吸込口下の床面を養生する。 ・吸出口、吸込口及びその周辺を除塵する。
	換気扇	拭き	※7	次の作業を行う。 ・換気扇下の床面を養生する。 ・換気扇及びその周辺を除塵する。 ・換気扇及びその周辺の汚れを中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。	